

契約保証金について

(契約保証金)

- 1 契約の相手方は、6により契約保証金を免除される場合を除いて、契約保証金を所定の手続に従い、地方独立行政法人埼玉県立病院機構（以下、「病院機構」という。）に納付又は提供しなければならない。

(契約保証金の額)

- 2 契約保証金等の額は、契約金額（消費税及び地方消費税を含む。）に契約保証金の率（100分の1以上）を乗じた額とする。

(契約保証金の納付)

- 3 契約の相手方は、契約保証金を納付する場合は、病院機構が発行する「払込書兼領収書」により、契約保証金相当額（2の額）を病院機構出納取扱機関に納付すること。

(契約保証金の還付)

- 4 病院機構は、契約の相手方が納付した契約保証金等について、契約に基づく給付が完了したとき、その他これを返還する事由が生じたときには、契約の相手方に対して、当該「払込書兼領収書」（写しでも可）を添付した請求書により還付する。

(契約不履行の場合の契約保証金の帰属)

- 5 契約の相手方が契約上の義務を履行しなかった場合は、契約保証金等は病院機構に帰属する。

(契約保証金の免除)

- 6 契約保証金の納付の免除を希望する場合は、契約保証金免除申請書（様式第3号）に、次に掲げる書類を添えて契約保証金の免除を申請する。
 - ア 保険会社との間に病院機構を被保険者とする履行保険契約を締結したときは、保険証書（原本）を提出する。
 - イ 契約の相手方から委託を受けた保険会社、銀行、農林中央金庫その他病院機構が指定する金融機関と履行保証契約を締結したときは、保証契約書（原本）を提出する。
 - ウ 前号ア又はイ以外で契約保証金の納付の免除を希望する場合は、契約保証金免除申請書（様式第3号）及び契約の履行について（様式第4号）に必要な書類を添えて、落札後、速やかに担当窓口提出する。